


獨 協 大 学 長 殿

学 外 研 修 報 告 書

私は、学外研修員として出張しておりましたが、このたび研修を終えて帰任いたしました。
つきましては、次のとおりご報告申し上げます。

報 告 日	2021年6月30日	所 属	外国語学部英語学科
職 名	教 授	氏 名	小 早 川 暁 
研修種別	<input checked="" type="radio"/> 海 外 2. 国 内	研修種類	<input checked="" type="radio"/> 長 期 2. 短 期
研修期間	2020年3月25日 ～ 2021年3月25日		
学外における主な研修機関および訪問先 ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフを予定していた。			
出張目的または研究題目 自然言語の論理の認知言語学的研究			
資 格 <input checked="" type="radio"/> 2019年度獨協大学学外研修員（派遣） 2. 本学承認の学外研修員（自費等） 3. その他（ ）			
大学から支給された費用（要精算書類）・補助金額 0 万円			
研修内容（1. 研修経過の詳細 2. 研究成果発表の予定 3. その他 を記入） 本学より許可を得た学外研修（海外・長期、派遣）は、新型コロナウイルス感染症感染 拡大の影響により、これを予定通り実施することは不可能となった。その経緯は次の通り である。 2020年3月10日、本学ウェブサイト上に「新型コロナウイルス（COVID-19）感染症拡 大防止のための教職員の渡航等について」と題する文書が掲示された。そこでは、教職員 の公務出張等について「外務省感染症危険情報でレベル2（不要不急の渡航は止めてくだ			

提出先：所属学部長→学長→人事課

さい。) 以上に指定されている国、地域への渡航は控えてください」と明記されていた。

同年3月16日、研修先であるドイツの感染症危険情報レベルがレベル1(十分注意してください)からレベル2(不要不急の渡航は止めてください)に引き上げられ、さらに3月23日にはレベル3(渡航は止めてください(渡航中止勧告))となった。

人事異動通知書に記載の学外研修(海外・長期、派遣)の期間中(2020年3月25日から2021年3月25日まで)、ドイツの感染症危険情報レベルはレベル3のままであり、これが引き下げられることはなかった。

本学派遣の学外研修(海外・長期)は公務出張等にあたり、本学の要請により渡航を控えたため、当初届け出していたドイツでの研究計画を遂行することはできなかった。